



昭和51年1月2日 新年練習初め（神田先生誕生日）

あの頃の 思い出 ▶16◀

バスケットボール部

秋田高校バスケットボール部は、大正14年創部、本年度100年を迎えました。われわれ昭和50年入学組は入学から50年という節目になります。この頃の戦績はバスケット部全盛期のひとつにあたります。

創部100周年を契機に

土門孝文 〓 昭和53年卒

この年、入部したのは附属中の安保亨、石館周三、太平中の桜田雄幸、南中の川浪秀一、西中の柏崎達徳、大塚一男、佐藤真、城南中の工藤至、そして東中の私を含めて十数人でした。出身校は違えど何度も対戦経験がある気心の知れた精鋭たちで、すぐに打ち解けることができました。

当時のスターティングメンバーは、2年上の中島誠さん（現OB会会長）の代と1年上の瀬戸泰之さんの代で構成され、平均身長180cmを優に超える高さで優れた技術を兼ね備えた素晴らしい先輩たちでした。全国で無敵を誇った能代工業とも新人戦で互角の戦いを繰り広げた実力があり、今振り返っても誇らしい限りです。

懐かしい神田先生の教え

バスケット部の伝統を受け継ぎ、われわれに最も影響を与えた恩師は神田勉先生（昭和25年卒／昭和44年／55年まで母校指導）でした。われわれの中では通称カンカンと呼ばれた先生の指導は、基本に忠実でありながら、生徒一人ひとりの性格や適性を見極め、将来も見据えた助言をくださるなど素晴らしいものでした。中途退部後再入部した者、体調不良時に気遣いを受けた者、大会遠征先での試合中に到底足りるはずもない交通費を差し出され「こ

れで秋田さ帰れ」と発奮を促された者など先生から指導を受けた数々のエピソードが思い出されます。先生の教え子たちは各方面で活躍しており、特に教育界においては中学・高校の校長を数多く輩出しています。

また、神田先生の教え子である畑澤三幸先生（昭和47年卒）からも大きな影響を受けました。特に印象深かったのは、夏休みに行われた小坂合宿です。この合宿は3年生が引退した後の新チームの団結力、チームワーク、技術の向上を目指したもので、体育館併設の宿泊施設に1週間缶詰で、外部からはほぼ隔離状態でした。合宿では、現役東京教育大（現筑波大）生であった畑澤先輩より、厳しい指導を受けました。同大学の監督は全日本チームの監督としており、畑澤先輩からその教えを基にした先進的、効果的な練習法を伝授していただいたおかげでチームとしての基礎を固めることができました。

宿泊棟から体育館へ続く円筒状の渡り廊下は、まるで当時放映されていた米テレビドラマ「タイムトンネル」のように、夏の地獄コートへの道でした。今も耳に残る畑澤先輩の「リピーター」という声。スリー・メン練習ではバス&ランでオールコートを往復、シュート、パス、キャッチのミスはもちろん些細なミスがあっても延々と「リピー

16
ONESIX

代表取締役

齋藤 靖之
SAITO Yasuyuki
(平成7年卒)

株式会社ワンシックス
秋田県秋田市千秋明徳町
1番56号NEWテラス広小路
tel: 018-123-4567
mail: saito@onesix.com
www.onesix.com

小松 正雄 (昭和42年卒)
小松 和彦 (平成7年卒)
〈秋田人形道祖神プロジェクト〉

秋田市中通4丁目17-9
TEL 018-837-1118
小松クラブスペース 校舎

歯科口腔外科・一般歯科・小児歯科

大淵歯科醫院

院長 大淵 義孝 (昭和42年卒)
本校学校歯科医 大淵 泰彦 (平成7年卒)

口の健康を保つことは、身体の健康を保つこと。

〒010-0001
秋田市中通4丁目7-35 秋田市民市場2F
TEL 018-835-3711
https://ohbuchi-dental.jp